



サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-039

発行 46年3月15日

1. 標 題 エンジン架および防火壁の改修
2. 適用機体 FA-200機体で製造番号[#]12~[#]100号機
3. 適用度 要望事項
4. 目 的 計器板の振動を少なくする。
5. 指 示 エンジン架の交換，防火壁の補強の実施
6. 実施時期 任 意
7. 承 認 この改修は小改造になるので修理改造検査が必要である。
この作業は防火壁の構造改修があるので作業着手時富士重工業（株）の指示をう
け実施すること。 航空局承認（NO-東-011）46.3.1
8. 所用部品 この作業を実施するには下記の部品が必要である。

部 品 番 号	部 品 名 称	1機当個数
200-412010-611	E/G MOUNT	1
200-430051-047	CLIP	1
200-430051-048	CLIP	1
200-430051-049	SHIM	2
200-430051-051	SHIM	2
200-430051-065	ANGLE	1
200-430051-066	ANGLE	1
200-430051-067	ANGLE	1

FAS-039

PAGE 1 OF 6

部 品 番 号	部 品 名 称	1機当個数
AN5-7A	BOLT	3
AN310-5	NUT	6
AN380-3-4	PIN COTTER	4
AN960-516	WASHER	3
AN960-D516	WASHER	6
AN960-516L	WASHER	6
MS-24665-134	PIN	6
NAS1305-25D	BOLT	4
NAS1305-28D	BOLT	2
NAS 679 A5	NUT	3

9. 特殊工具 な し

10. 重量重心 無視できる。

11. 準拠資料 な し

12. 所要工数 60MH

13. 作業手順

- (1) サービスマニュアル項目4-3-1により上部、下部カウリングを取りはずす。
- (2) サービスマニュアル項目4-5によりエンジンマウントと共にエンジンを取りはずす。
- (3) サービスマニュアル項目4-11-1によりエンジンとマウントを分離する。
- (4) 防火壁構造改修附近に取り残された配線、配管等を改修の邪魔にならない最少限で取りはずす。
- (5) 計器板をサービスマニュアル項目11-2-1により取り外す。
- (6) ラジオラックカバーを取り外し、各種無線器本体を取り外す。

取り外し要領は

(サービスマニュアル VHF関係項目14-2-4, -7, -10, 及び-13の適用する項目 VOR関係項目14-3-4, -7及び-10の適用する項目 ADF関係項目14-4-4, -7及び-10の適用する項目を参照)

- (7) 防火壁裏面に於いて、構造改修周辺の配管（エルボ、テイ等）配線ケーブル（パーキング、エンジン操作装置、取り外し項目4-16-1参照）等を取りはずす。
- (8) 操縦桿からサービスマニアル項目8-2-7(1)により操縦輪を取り外す。
- (9) 防曇ダクト、ブランチ組立を取り外す（サービスマニアル図12-1参照）
- (10) 非常信号灯（取りはずし要領項目12-3-4）、救急箱（12-3-2）、携帯用消火器（12-3-3）を取りはずす。
- (11) サービスマニアル項目7-7-1により前部左右座席を取り外す。
- (12) 側面前部（左右）内張りを取り外す（サービスマニアル項目12-4-1参照）
- (13) 防火壁の構造改修周辺の断熱材をはがす。
- (14) 防火壁WL2002で結合しているサポート^P/_N200-430051-019、-020及び-021の取付部をつぎに示す要領で改修する（図-1参照）
- a 防火壁、エンジン・ルーム内キャビンヒーターコントロールケーブル支持ブラケットを鉄2ヶ除き取り外す。
 - b 防火壁 左キャビン内、非常信号灯取付ブラケットを鉄14ヶを除き取り外す。
 - c 防火壁 左キャビン内、パーキングコントロールケーブル支持ブラケット鉄4ヶを除き取り外す。
 - d キャビンヒーターコントロールバルブ取付部タブラ-上部鉄1列目4ヶを取り除く。
 - e 図-2に示す200-430051-019、-020及び-021補強材を鉄34ヶを除き、防火壁ウェブより取り外し廃棄する。
 - f 図-2に示す200-430051-015、-017、200-430051-016と-018を互いに接合している鉄及び-017、-018側の1列目迄の鉄を切り除く。
 - g 図-2に示す200-430051-015、-016、-017及び-018補強材を夫々図-1改修図に示す寸度になる様切断加工する。
 - h 前項14-1で取り外された補強材の代わりに200-430051-015、1-065及び-066を左右に位置決めする。
 - i 前項で挿入したアングルと防火壁ウェブ間左右端部のエンジン架取付部にシム材200-430051-051を位置決めする。
 - j 前項（g）で整形した補強材（200-430051-015、-016）間にシム材200-430051-049を挿入する。

- k 200-430051-065と-066アングルを防火壁中心において200-430051-067アングルを使用し接合する。取り付け及び打鉄要領は図-1及び矢視A-Aによる
- l 200-430051-065, -066アングルを防火壁ウェブと共に既存鉄孔をガイドとして #30 (.128 IN) のドリルで穿孔しMS20470AD4 鉄で打鉄する。(図中特記以外, 必要によりサイズアップ可)

このとき前項 (c) で取り外されたブラケットを同時に取り付ける。

- m 200-430051, -015, -016, -017及び-018補強材を既存鉄孔を利用して打鉄する。
- n 前項で打鉄された200-430051-017, -018補強材と200-430051-065および-066アングルに, 図-1矢視B-Bの要領で200-430051-047, -048クリップを取り付ける。
- o 前項 (b) の非常信号灯取付ブラケットを補強材と防火壁に既存鉄孔を利用し取付ける
- p 前項 (a) で取り外したキャビンヒーターコントロールケーブル支持ブラケットを取り付ける。
- q 前項 (d) のダブラー取付鉄を打鉄する。
- r 旧E/Gマウント取付用穴 (上部) 3ヶ所をAN5-7Aボルト, NAS679A5ナット, AN960-516ワッシャーで塞ぐ。

(15) 図-4の矢視で示されたバツフル組立 (200-914105-003, 200-914106-005) を取りはずす。(サービスマニュアル項目4-10-1参照)

(16) 前項で外されたバツフル組立を図-5, および図-6の要領で改修する。

(17) 前項で改修されたバツフルを取りつける。(サービスマニュアル項目4-10-2参照)

(18) 新しいエンジンマウント (200-412010-611) にエンジンを取りつける。

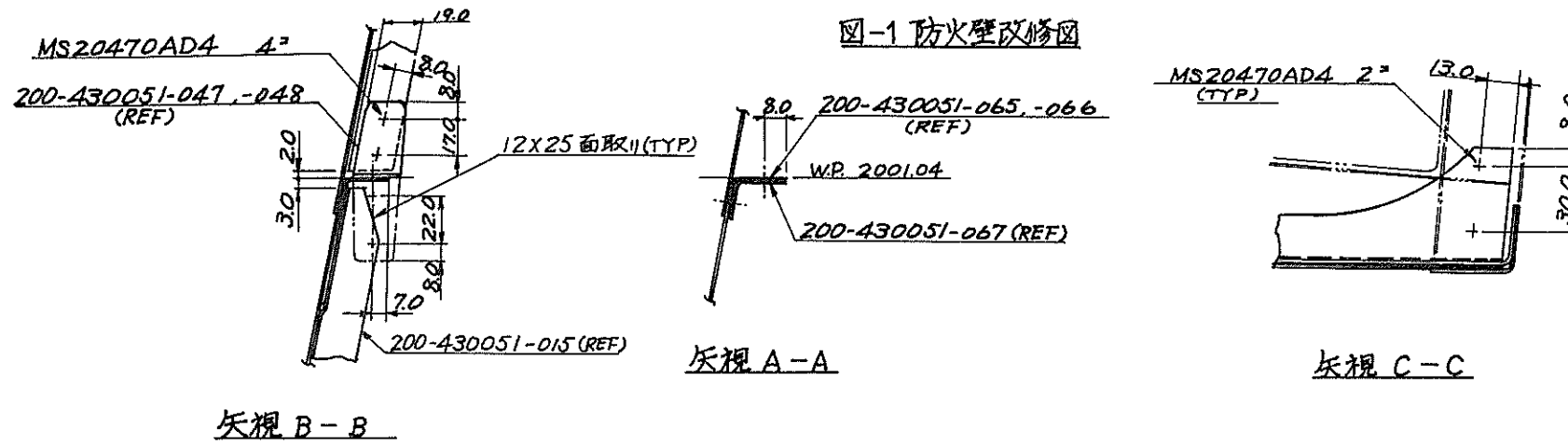
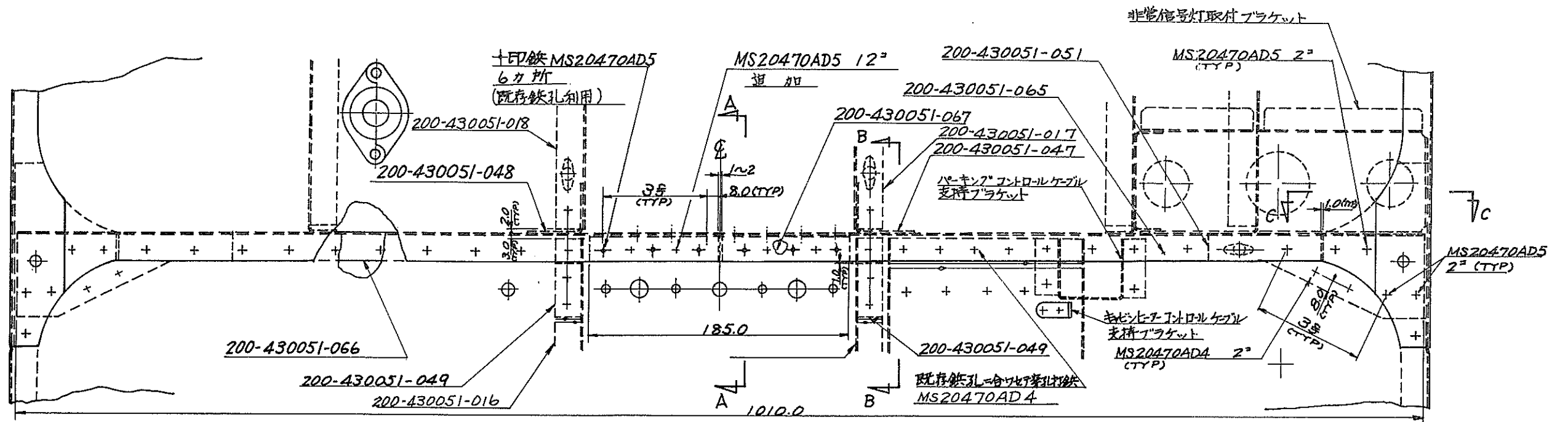
(サービスマニュアル項目4-11-2参照)

(19) 前項4-13で取り外された部品を復帰する (取り付け要領はサービスマニュアル各章の取り付け要領に依る)

(20) 前項2項の逆手順に依りエンジンマウントと共にエンジンを取り付ける。

エンジン取り付け要領は図-3に依る。(サービスマニュアル項目4-8参照)

(21) 上部及び下部カウリングを取り付ける。(サービスマニュアル項目4-3-2参照)



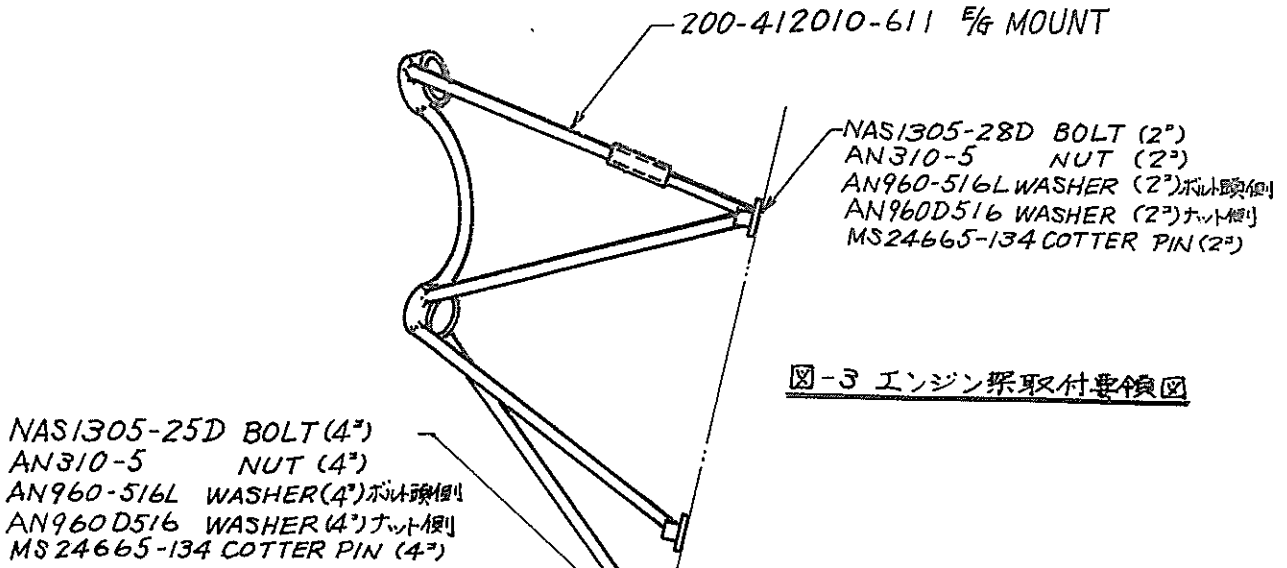


図-3 エンジン架取付要領図

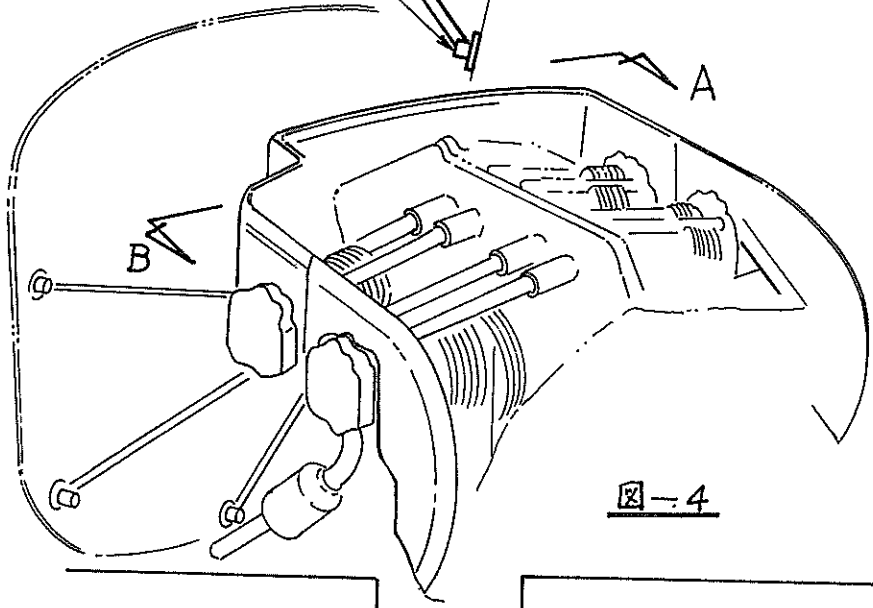


図-4

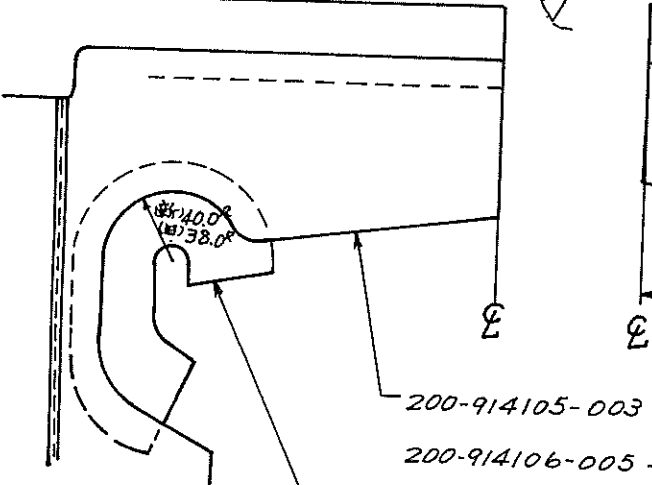


図-5 矢視 A バッフル改修図

要領 上記-003(バッフル)および-015(シール)の寸度を1部変更する。

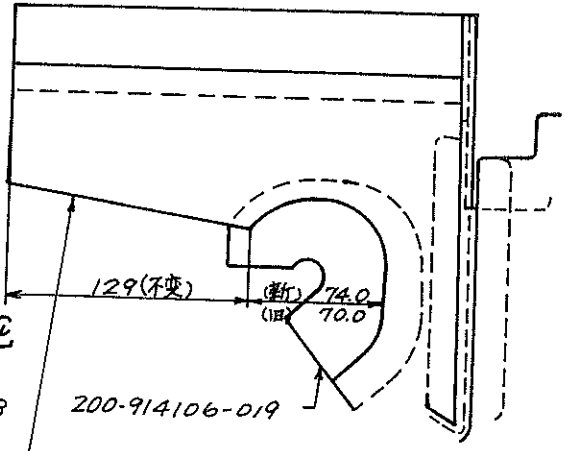


図-6 矢視 B バッフル改修図

要領 上記-005(バッフル)および-019(シール)の寸度を1部変更する。